



現代を生きる

互いに支えあう地域 を目指して

当別町共生型地域福祉ターミナル
ボランティアコーディネーター

弥生 1091 番地 ☎ 22-0400

(写真右側から)

池田圭吾さん (NPO 法人ゆうゆう24)

小国柑奈さん 当別町社会福祉協議会
(当別町ボランティアセンター)

穂刈真由美さん (NPO 法人ゆうゆう24)

当別町ボランティアセンターでは、さまざまなボランティア活動をサポートするために、3人のフレッシュな職員が奮闘しています。

ボランティアセンターの活動は？

地域には家事の援助や、障がいを持った方への手助け、例えば犬の散歩など細かなことを含めてボランティアに対するニーズがあるんです。

昨年7月に地域福祉ターミナルがオープンし、社会福祉協議会のボランティアセンターと、NPO 法人当別町青少年活動センターゆうゆう24の学生ボランティアセンターが、一緒に事務所に入りました。

ターミナルができて、社会福祉協議会とゆうゆう24の共催事業に参加した13歳の男子中学生が、ボランティアに興味を持ち、先日ボランティア登録をしてくれました。このように13歳から80歳まで200名以上の地域の方が登録をしてくれているんです。この

他に学生のボランティアの登録も700名以上あり、私たちはサポートを必要としている方とボランティアとをつなぐコーディネートをしているわけです。

地域ボランティアと学生ボランティアの一本化で、より幅の広いニーズにお応えできるようになりました。そればかりでなく、買い物帰りの方や、学校帰りの児童生徒も立ち寄り、気軽にお話をしてくれる環境になりました。

今年度は、高齢者サロンを年8回企画しています。お年寄りが何をしたいか、体を使ったゲームや子どもとの交流など、その時々でボランティアの方々と考えて肩ひじの張らない楽しい集まりにしたいんです。

将来、どんな夢がありますか？

はじめてボランティア活動に参

加する学生は、「清掃活動や募金運動などがボランティア活動」といった漠然としたイメージを持つ人が多く、家事手伝いや子どもの話し相手など普段の生活に近い活動があることを知ると、興味を持ち参加する学生が増えるんです。

コミュニティがあるまちって元気があるでしょう。

お年寄りが元気だと若い人も刺激されてもう少しがんばらなきゃという気にもなる。

そういうごく普通の生活が送られるということは素晴らしいことだと思います。それには「困った時はお互いさま」で、相互が隔たりになく活動できることが大切だと思うのです。

今年取り組む高齢者サロンも、いつしか自然に集まる、自然に顔を見合わせるきっかけになって、このことが地域の元気になってくれたらと思うのです。